

九月二十日

壬午

東京府下三田於テ動物市場ヲ開設ス

東京府布達

牛馬^{甲八十八号}其他動物市場、儀從前人家接近、地ニ於テハ
制止ニ有之、今般勸業局、及協議第二大區ハ小區
三田一丁目同局用地ニ於テ動物開市差許其他植物
並諸品共賣買不苦候條委細ハ別紙、通相心得借地及
ニ開市希望者、直ニ同場、可申出此旨布達候事
九月二十日

太正美術

三田育種場會市ノ順序

三田育種場農産會市之順序

一本場開設ノ旨意タルヤ農事ノ本業五穀菜蔬栽培ノ類ヲ云大ニシ其餘業有用菓樹木材或ハ製造品ニ用フヲ云セシカ爲ニ設ル所ニシテ凡テ内外ノ動植物及ヒ其他ノ農産物ヨリ成立タル製造品ヲ自由ニ交互賣買セシメ得失利害ヲ各自ニ參酌シテ自ラ其事業ノ進歩ヲ得セシムルニ在リ故ニ農産物ニ關係アル者ハ品ノ何タルヲ問ハス總テ本場ニ來會シ交互賣買スルヲ許ス且其ノ賣買方法ハ官ノ素ヨリ關スヘキニ非サレハ各自ノ申合ニ任セ唯其弊害アリト認ル者ハ之レヲ參酌シテ商議ノ上或

ハ改定セシムルヲアルベシ

但來會交互セントスルモノハ本場設クル所ノ
別冊會市場規則ヲ遵守スヘク尤後來ノ景況ニ
隨フテハ此規則ヲ改正スルヲアルベシ

一 同場中ヲ分畫シテ四大區トシ其第一大區ハ内國
良種ノ穀類ヲ播種シ各其性ニ隨テ能ク之カ培育
ノ道ヲ盡シ收穫ノ多寡ヲ比較シテ其培育ノ効ト
種類ノ優劣トヲ示スノ所トス第二及ヒ第三ノ區
ハ最有益ナル内外菓木ノ善良ナル者ヲ樹植シテ
其培栽ノ法ヲ準式スル所アラシメ且人民ノ請ニ
應シテハ之ヲ賣リ與ヘ或ハ他ノ菓木ト易ヘンヲ

ヲ望ム者ニハ又之ヲ交換セシムヘキノ便ニ備ル
所トシ第四大區ハ即チ會市ノ場ニシテ本場中ノ
穀菜菓木ヲ賣リ與ヘ或ハ之ヲ交換シ又ハ動植物
及其他一切ノ農產物ヲ人民交互賣買スルノ所ト
シ又之カ爲ニ場所ヲ要スル者ハ相應ノ地坪ヲ貸
與スヘキノ所トス

一 大市ハ毎年四月十月ノ兩次ト定メ小市ハ毎月數
次之ヲ開クヘシ凡ソ其品類ハ牛馬羊豚鳥魚及其
他ノ水產物ニシテ次ハ穀菜菓木種苗其餘ハ農具
馬具ノ類及ヒ諸農產物ヨリ成立ナタル一切ノ製
造雜品トス

一 毎年兩次ノ大市ニハ各自持出タル物品ヲ審査評
定シ優等ナル者ニハ特ニ其賞ヲ與ヘテ愈出精セ
シメ以テ其他ノ人民ヲシテ之ヲ羨慕シ益其業ヲ
研精スルノ念ヲ起サシムヘシ畢竟此會ハ農業上
ノ各種ヲ勸獎誘道スルカ爲ニシテ漸次其業ノ盛
ナルニ隨ヒ歐洲各地ノ如ク諸府縣下ニ農業會社
ノ自カラ成立如キヲアラハ之ヲ鼓舞振作スルハ
其會社ノ責任タルヲ素ヨリナリ又此ヲニ付キテ一
種ノ報告雜報等ヲ編成シ其佳品ヲ作り出シタル
原由及ヒ培養ノ勉力ナドヲ記載シテ之ヲ江湖ニ
廣告シ篤志ノ諸輩日一日ヨリ増加シテ其業ノ漸

次進歩スヘキヲ期ス

一 毎月ノ小市ハ豫メ其會日ヲ設ケテ穀菜菓木ノ種
苗ヲ請求スルモノ或ハ牛馬羊豚魚鳥其他ノ動植
類及ヒ各種ノ農產物ヨリ成立タル諸製造品ヲ交
互賣買スル等總テ各自ノ自由ニ任スベシ
一同上ノ儀ニ付臨時會市ヲ開カントスル者ハ人民
申立次第掛ノ者協議ノ上之ヲ許スヘシ
一 穀菜菓木ノ栽培播種ノ方法ヲ知ラント欲セハ宜
シク現地ニ就テ了知スヘキハ勿論ナレモ若シ遠
隔ノ地ニシテ現地ヲ見ルヲ得サル者ハ別冊方
法及圖面ヲ一覽シ其要スヘキ名目ヲ書送スル

ハ則テ之レヲ送付スヘシ又各地ヨリ輸送セント
スル動植物及ヒ其製造品ハ請求ニ應シテ交互賣
買共本場ニ於テ之ヲ取計フヘシ右等ノ手續ハ總
テ府縣官吏ノ手數ヲ經ルニ及ハス直ニ本場ヘ宛
通信スルヲ許ス

但本文輸送ノ手續ハ追テ其景況ヲ察シ取扱規
則ヲ定ムヘシ

右ノ通今般假定スル所ノ者ハ畢竟事業ヲ勸奨誘導
スヘキ爲メナルカ故ニ能ク其趣旨ヲ体認遵守スヘ
ク抑農産ノ國家ニ有益ナルヲハ載テ別冊ニ詳ナレ
ハ宜シク之レヲ熟讀シテ各自交互賣買ノ自由ヲ全

シ來場會市共ニ動植ヲ繁殖シテ以テ大ニ國家ノ利
益ヲ興サンヲ企望スル所ナリ

明治十年九月

勸農局三田育種場

農産會市日割

春秋ノ大市

四月十五日

十月十五日

毎月小市

一日

廿日